

# 令和 6 年度 日向市

## 「企業版ふるさと納税」のお願い



# 目 次

|                               |           |
|-------------------------------|-----------|
| 1 リラックスタウン「日向市」のご紹介           | .....P.1  |
| 2 企業版ふるさと納税制度の概要              | .....P.2  |
| 3 寄附企業様へ提供するベネフィット            | .....P.3  |
| 4 日向市の地方創生に向けた戦略              | .....P.4  |
| 5 注目プロジェクト                    |           |
| (1) 三位一体の教育～ひゅうが学びの学校～        | .....P.5  |
| (2) ワークेशन推進事業                | .....P.6  |
| (3) 若者と女性に選ばれるまち日向市の「しごと創生事業」 | .....P.7  |
| (4) 幻のかんきつ「へべす」振興対策事業         | .....P.8  |
| (5) 日向市総合体育館                  | .....P.9  |
| (6) 助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト      | .....P.10 |

# リラックスタウン「日向市」のご紹介

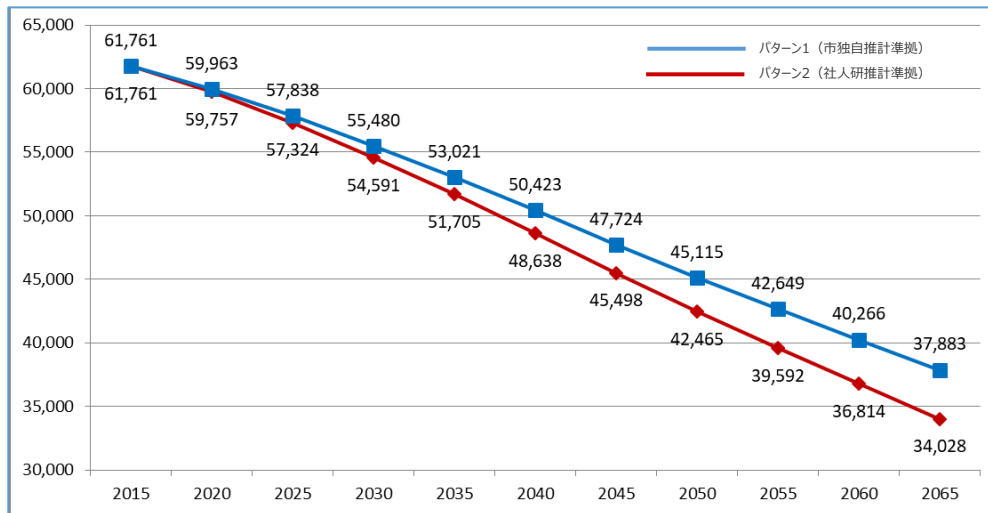
## 日向市の概要

当市は、宮崎県の北部に位置し、全国でも有数の温暖で晴天に恵まれた地域です。人口規模は、県内4番目で、東九州の扇の“かなめ”である重要港湾「細島港」を中心に、インフラ整備や産業集積等を進め、県内随一の港湾工業都市として発展してきました。市の自慢は、海・山・川の美しい自然、都会にはない“ゆっくり”と流れる時間、人間味あふれる温かな市民の皆さんです。

## 日向市の将来展望

社会保障・人口問題研究所の人口予測では、当市の**2045年の人口は、45,498人と推計**されており、今後、急速に人口減少が進むとともに、少子高齢化により生産年齢人口が減少し、産業や地域社会の担い手不足が懸念されます。

当市では「**2045年に人口48,000人を維持することを目標**」に、第2期日向市総合戦略に基づき、地方創生に取り組みます。



日向ひよつとご踊り



日本の渚百選 お倉ヶ浜 遠望



重要港湾「細島港」



日向岬「馬ヶ背」

# 企業版ふるさと納税制度の概要

## 企業版ふるさと納税制度の概要

国が認定した地方創生プロジェクトに対して、企業が寄附を行った場合に、寄附額の最大6割を法人関係税から税額控除する仕組みです。損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、寄附額の最大約9割が軽減されます。

当市では「第2期日向市総合戦略を包括的に地域再生計画として認定を受けており、同戦略の事業全てが対象」です。



内閣府「企業版ふるさと納税リーフレット」から抜粋

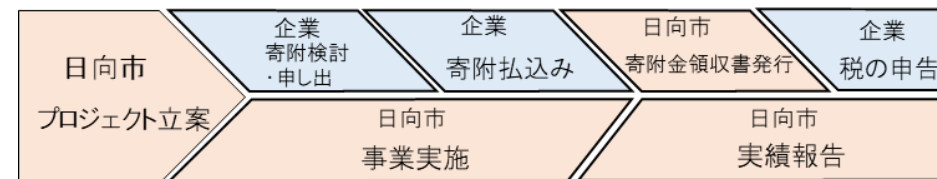
## 制度活用の流れ・留意事項

- 1回あたり**10万円以上の寄附**が対象です。
- 代償として**経済的利益を受け取ることは禁止**されています。
- **本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外**です。

## 企業の皆さまのメリット

- SDGsやESGへ寄与
- 寄附額に応じてベネフィットの提供（P.3参照）
- 法人関係税の大きな軽減効果
- 地方公共団体との新たなパートナーシップの構築
- 創業地等の地域への恩返し

## 制度活用の流れ



## 【問い合わせ・企業版ふるさと納税担当】

総合政策部 総合政策課 政策推進係

TEL 0982-66-1001

E-mail [sougou@hyugacity.jp](mailto:sougou@hyugacity.jp)

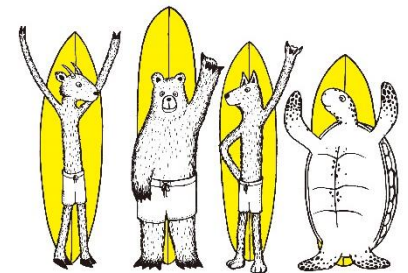


日向市HP

# 寄附企業様へ提供するベネフィット

|                                | 10万円～50万円未満          | 50万円～100万円未満         | 100万円以上                       |
|--------------------------------|----------------------|----------------------|-------------------------------|
| 贈呈式<br>(感謝状・目録等)               | —                    | —                    | ○                             |
| 広報紙への掲載                        | —                    | ○                    | ○                             |
| 市政記者クラブへの情報提供<br>(寄附額が公表可能な場合) | —                    | ○                    | ○                             |
| S N Sでの公表<br>(ライン・フェイスブック・アプリ) | ○                    | ○                    | ○                             |
| ホームページへの掲載                     | ○<br>(企業名 + H P リンク) | ○<br>(企業名 + H P リンク) | ○<br>(企業名 + H P リンク + 企業コメント) |

- 別途事業毎に、ご提案させていただくベネフィットもございます。
- 上記のほか、1, 0 0 0 万円以上の寄附は、紺綬褒章の対象として推薦いたします。



# 日向市の地方創生に向けた戦略

## 4つの重点戦略 「若者と女性に選ばれるまち“日向”未来づくり戦略」

### 未来へつなげる人づくり戦略

たくましく生きる力を備え、一人ひとりが自立し、それぞれの持つ力を発揮することができる「人づくり」に向けて社会全体で取り組みます。

### 活力を生み出すにぎわいづくり戦略

誰もが活躍できるしごとづくりへの取り組みや、稼げる仕組み作りを行い、新たな人の交流や流入によって活気とにぎわいのあるまちづくりに取り組みます。

### 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり戦略

住み慣れた地域に、笑顔で健康に生き生きと暮らし続けられるよう、誰もが地域社会全体で支え合えるまちづくりに取り組みます。

### 自然豊かで快適な強いまちづくり戦略

自助・共助・公助による災害対応力の強化や、利便性の高いコンパクトなまちづくり、また、交通ネットワークの構築に取り組みます。

次のページから主な事業を紹介します。

第2期日向市総合戦略において「若者と女性に選ばれるまち“日向”未来づくり戦略」を重点戦略とし、4つの戦略を推進します。





# 1 未来へつなげる 人づくり戦略

## 三位一体の教育～ひゅうが学びの学校～



### 概要（背景、課題等）・目指す将来像

当市では、生きる力を備えた子どもの育成を目指し「キャリア教育」「義務教育9年間を見据えた系統的な学習」「地域とともにある学校づくりとしてのコミュニティ・スクールの推進」など、三位一体の教育に取り組んでいます。その中でもキャリア教育は、たくましく生きる力を備えた子どもの育成を図るための根幹をなすものであり、将来、自立した社会人・職業人となるために学校、家庭、地域、企業等が連携を深めながら一体となって取り組む必要があります。また、キャリア教育を通じて、日向市の自然や歴史、産業や文化を理解することで、それらを愛する郷土愛の醸成についても期待ができる事業です。

### これまでの主な取組

#### ◆キャリア教育推進事業

産官学連携のもとに「キャリア教育」を推進するために「日向市キャリア教育支援センター」を設置し、コーディネーターが協力事業所や講師との連絡調整を担うことで、年間を通じて学校の要請内容に基づいた職業体験（14歳のよのなか挑戦）や児童生徒向けの職業講話（よのなか教室）を実施しています。また、市民や企業に対して、キャリア教育の目的や必要性について、啓発を行うとともに協力体制を構築し、学校では担うことのできない役割を果たしています。（平成25年スタート：12年目）

### 寄附を活用する内容（今年度取り組む具体的な事業内容）〈R6年度総事業費：1310万円〉

#### 【キャリア教育推進事業の継続と活性化】

○『よのなか教室』及び『14歳のよのなか挑戦』の推進

市内各学校のニーズに応じたキャリア教育が実施できるよう、研修会の開催や講師の派遣を行うとともに、よのなか先生の資質向上を図ります。また、市内中学校のニーズに応じた職業体験等を実施するために、協力事業所との協議調整をサポートし、研修会や事例発表会を開催するなど、協力事業所の受入体制の整備に取り組みます。

○キャリア教育の推進に向けた市民や企業等への啓発、協力体制の構築

市民や企業に対して、キャリア教育の進捗状況、課題、期待される効果、さらに、企業等の事業参画の意義など、キャリア教育の目的や必要性について、各種情報ツールを活用し啓発を行います。



### 寄附を頂いた企業様へのご提案

#### ■ ホームページや報道等での企業名の掲載・紹介

キャリア教育支援センターで運営するホームページ等に企業名を掲載するほか、学校での授業の様子など、報道機関等に積極的にリリースし、その際企業名等を紹介させていただきます。

※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。

※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。

### 【事業の担当】

教育委員会 学校教育課 教育指導係

TEL0982-66-1037 / FAX0982-54-2189

E-mail [gakko@hyugacity.jp](mailto:gakko@hyugacity.jp)

## 概要（背景、課題等）・目指す将来像

当市では、関係人口の創出や地域課題解決を目標に、市の総合計画に掲げる「リラックスタウン日向」をコンセプトとしたワーケーション事業を推進しています。なかでも、企業を対象とした研修型ワーケーションについては、国のモデル地域に指定されるなど、国内先進地域としての知名度も高まっています。

太平洋を一望できる海岸部等の雄大な自然に囲まれた非日常的空間での快適な「ワーク」はもちろん、サーフィンや農林水産業など、当市ならではの地域コンテンツ体験、そして、地元住民との交流を通じて、事業に携わるすべての方々が新しい価値を創造したり、ウェルビーイングの向上を実現する「共創（Co-Creation）型ワーケーション」に積極的に取り組むことで、当市が抱える多様な課題の解決を目指していきます。

## 寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R6年度総事業費：1543万円〉

### 日向市ワーケーション推進会議におけるワーケーション推進の取り組み

市内のワーケーション協力施設・団体を中心に組織する「日向市ワーケーション推進会議（事務局：商工港湾課）」において、地域課題解決型アイデアソンや親子ワーケーションを通じた共創型ワーケーションに取り組みます。事業の企画・運営・振り返り等に市内事業者が直接参画することにより、地元へのワーケーションの定着と理解度の向上を目指します。

また、国が推進するデジタルノマド誘致にも積極的に参画し、ローカル発の「デジタルノマドの聖地」を目指します。

【ワーケーション体験コンテンツのご紹介】 ※その他、SDG s 型地域プログラムも多数準備しております。

#### ○ 担い手問題解決に向けたDX漁業体験とセリ市見学

地域の台所である細島漁港で、DXによる次世代漁業にチャレンジする漁船への乗船体験とセリ市見学を行います。

#### ○ 「害を宝に」地域課題解決を目指したワークショップと体験プログラム

竹害を抱える山間部の集落の解決策を模索するワークショップの開催と放置竹林から伐採した竹を利用した竹細工制作を通して、サステナブルな地域経営について学びます。



## 寄附を頂いた企業様へのご提案

### ■ 共創型ワーケーションへの参加（SDG s 型地域プログラム等の提供）

日向市ワーケーション推進会議が企画・実施する共創型ワーケーションに参加いただけます。内容等は、寄附後に調整させていただきます。

※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。

※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。

### 【事業の担当】

商工観光部 商工港湾課 港湾・企業立地係

TEL0982-66-1025 / FAX0982-54-2639

E-mail syoukou@hyugacity.jp





地元産スギ材をふんだんに使った  
「日向市しごと創生拠点」のお洒落な内観

## 概要（背景、課題等）・目指す将来像

デジタル化の推進や人口減少対策、雇用人材の確保、さらに世界的な原油価格・物価高騰への対応など、事業者の抱える課題は多様化しており、個々の課題に伴走型で対応することが求められています。

当市では、「日向市しごと創生拠点」に日向市産業支援センター「ひむか-Biz」を設置し、専任コーディネーターが事業者の強みを見出し、アイデアや具体的解決策を提案する支援体制を構築しています。

平成29年の事業開始以来、**7,000件を超える相談対応、432件の売上アップ、116件の新規起業の実績**があるほか、販路拡大への伴走型支援など、地域産業の活性化及び地方創生につなげる取り組みを支援し、若者や女性の定住促進を図っています。

## 寄附を活用する内容（今年度取り組む具体的な事業内容）〈R6年度総事業費：2121万円〉

### ◆ひむか-Biz運営事業

専任コーディネーターが、事業者の目線に添った経営分析やアイデアを提案するほか、異業種とのマッチングなどを図ることで、新商品開発や販路拡大、若者や女性の起業で大きな成果を上げています。特に令和5年度は新規起業者が増加し、昨年と比べると約2倍の伸び率となりました。

令和6年度は、新しい取り組みとして、ひむか-Bizとみんなで稼ぐを考える「KASEGU+」を開催し、『稼ぐ意識に気づく』、『稼ぐアイデアを考える』、『稼ぐ仕組みをつくる』にフォーカスし、様々な方法で自社の稼ぐ力を研究し、引き出す方法を考え、実践することで売上アップへの支援をしていく予定です。

新規起業や売上アップを目指す事業者は増加傾向にあり、今後も伴走型できめ細やかな支援に取り組んでいきます。



→ 専任コーディネーターによる相談業務



← 伴走型支援によって生まれた  
『白きくらげパウダー』

## 寄附を頂いた企業様へのご提案

### ■ タイアップ企画と好事例の現地視察

専任コーディネーターとのタイアップ企画、好事例の現地視察など、企業様のご希望に添った内容をご提案させていただきます。

※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。

※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。

## 【事業の担当】

商工観光部 商工港湾課 中小企業振興係

TEL0982-66-1025 / FAX0982-54-2639

E-mail syoukou@hyugacity.jp



ひむか-Biz HP

# 幻のかんきつ「へべす」振興対策事業

## 概要（背景、課題等）・目指す将来像

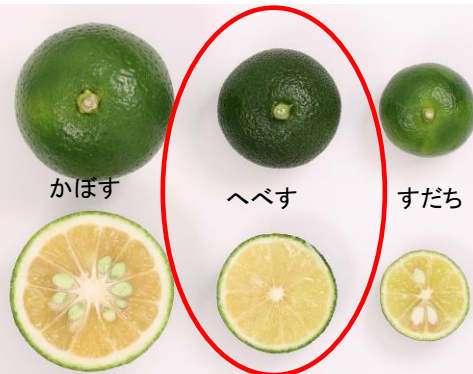
「へべす」は、日向市特産の香酸かんきつで、まろやかな酸味とさわやかな香りを持ち合わせ、種子が少なく、果汁が多いことが特徴です。

江戸時代末期に日向市の農家 長曾我部平兵衛（へいべえ）さんが、山に自生する香りのよい木酢を発見し、その苗木を広めたことから、「平兵衛さんの酢」→「へべす」となりました。

このような特徴がありますが、皮が薄いため日持ちがせず、宮崎県外への出荷はごく一部に限られていた関係から、幻のかんきつとも呼ばれております。

\*「かぼす」や「すだち」の生産量約4,000tに比べ、「へべす」は約100 t（J A 取扱い）。

日向市では、「へべす」の都市圏での認知度向上や生産拡大に取り組み、この「へべす」をより多くの人に味わっていただきたく、事業を実施しております。



## 寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R6年度総事業費：560万円〉

### 1 へべす振興対策事業

- 県内外でのイベントの開催  
（宮崎市内、関東方面、福岡方面を予定）
- SNS、メールマガジン等を活用したへべすに関する情報発信
- 宮崎県の県外事務所と連携したへべすの販売促進活動の実施
- へべす大使（13名）を通じた認知度向上の取り組み

### 2 日向市ブランド品目植栽事業

- 「へべす」など日向市のブランド品目の新規植栽の苗木経費の補助  
\* R5の「へべす」苗木補助実績 1,597,961円  
（苗木4,253本分）

## 寄附を頂いた企業様へのご提案

### ■ メールマガなどでの情報発信

内容等は寄付後に調整させていただきます。

※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。

※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。



## これまでの取組例

- 「ヒュー！日向 食の祭典 運命のレシピVol.2」の開催
- ホームページ、YouTube、SNSの運営
- へべす大使によるPR  
本市出身プロ野球選手 青木宣親さん  
シェフ 落合務さん、鈴木弥平さん  
バイオリニスト 古澤巖さん  
アコーディオニスト cobaさん  
シンガーソングライター 杉山清貴さん など

## 【事業の担当】

農林水産部 ふるさと物産振興課 物産振興係

TEL0982-66-1028 / FAX0982-52-1455

E-mail bussan@hyugacity.jp





現在の市体育センター及び武道館

## 概要（背景、課題等）・目指す将来像

現在の市体育センター及び武道館は、建設から54年が経過し、老朽化に加え耐震性にも課題があることから、利用者の安全性の確保が急務となっています。また、厳しい財政状況や将来の人口減少を見据えた施設のあり方や複合化の検討も必要な状況となっており、多様化する市民ニーズに応える設備の充実や自然災害に備えた中長期的に生活ができる場所としての役割を果たす拠点施設としての整備が求められています。

このような状況を踏まえ、市民の幅広いニーズに対応し、スポーツや健康づくりを推進するとともに災害時の避難拠点としても活用できる総合体育館の整備を目指します。

## 寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R6年度総事業費：8650万円〉

### 日向市総合体育館整備事業 全体事業費 42億円

（前年度まで：2億2000万円、今年度：8650万円、次年度以降：38億9350万円）

日向市総合体育館の建設については、効率的で合理的な設計・施工を実現するとともに、工事品質の一層の向上を目指して、民間事業者の技術力とノウハウを生かした設計・施工を一括して発注するデザインビルド方式（DB方式）を採用し、スポーツをする機会が少ないと思われる子育て世代やスポーツをされない方なども、魅力的で気軽に利用できる体育館を目指し、市民の誰もが安心して楽しく利用できる憩いの場としての活用を図っていきます。

令和6年度は、「日向市総合体育館整備基本計画」に基づき、実施設計業務に取り組み、令和8年度の供用開始を目指します。



市民の交流拠点となるコミュニティホール

### 【注意事項】

掲載している各イメージ図は、技術提案時のものであり、基本設計前の資料であることから、必ずしも、この内容どおりという訳ではありません。



県産材の内装による武道場

### 【事業の担当】

総務部 資産経営課 体育館建設係

TEL0982-66-1013 / FAX0982-54-8747

E-mail shisankeiei@hyugacity.jp



市総合防災訓練での  
避難所運営訓練の様子

## 概要（背景、課題等）・目指す将来像

当市は、南海トラフ巨大地震が発生した場合、最大震度 7、最大津波高 15m の災害に見舞われ、人口約 59,000 人のうち死者約 5,900 人、負傷者約 2,000 人と県内で最も大きな被害が想定されています。

加えて、3 万人以上が 1 ヶ月以上避難生活を余儀なくされるほか、道路や水道・電気などライフラインにおいても甚大な被害が想定されています。

令和 4 年台風第 14 号では、内水等により 150 件を超える住家の浸水被害が発生するなど、台風や豪雨などによる河川の氾濫、土砂災害警戒区域での急傾斜地の崩壊や土石流などの風水害にも備える必要があります。

市では、自然災害から市民の生命と財産を守るため、自助・共助・公助による災害対応力の強化に取り組むとともに、誰もが安心して暮らせる強いまちづくりを進めています。

## これまでの主な取組

巨大地震による犠牲者を限りなくゼロにすることを念頭に、令和 2 年度までに市内 10 箇所に津波避難タワーや避難山を整備しました。

津波浸水想定区域においては、自主防災組織等を中心に、整備された避難施設を活用した避難訓練等が積極的に行われています。

## 寄附を活用する内容（今年度取り組む具体的な事業内容）〈R6 年度総事業費：2787 万円〉

## 1 災害予防対策事業

被災者の生活環境の早期改善のため、水、食料、生活必需品、防災対策用の資器材等の安定確保を図ります。

特に、災害時の断水に備え、水循環型の手洗いスタンドを整備することにより、避難所等での衛生的な環境の提供や感染症対策に取り組めます。

## 2 防災情報収集・伝達事業

気象情報等を収集するためのシステムや市民への情報伝達システムを構築するとともに、平常時から運用体制を整備します。

特に、防災行政無線のバッテリー更新や、災害時に情報通信が途絶した場合の衛星通信を活用した通信手段の整備に取り組めます。



## 【事業の担当】

総務部 防災推進課 防災管理係

TEL0982-66-1011 / FAX0982-54-8747

E-mail bosai@hyugacity.jp